

## 実りの秋を満喫しよう

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉通り、大変に厳しかった残暑も収まり、過ごしやすい季節になりました。

10月には、昨年同様『体育授業参観』を実施します。各学年、徒競走と団体演技（団体競技）を行います。短時間ではありますが、子ども達が精一杯、走ったり踊ったりする姿を見ていただければと考えています。新型コロナウイルス感染症が収まらない状況から、感染拡大防止対策を行った上で、学年ごとの入れ替え制での実施とさせていただきます。何卒ご了承ください。

気候のよい秋は、読書の秋とも言われます。羽束師小学校の図書館には読み物や図鑑など様々な本を配架しています。読書は感性を磨き、想像力を養います。また、表現力や想像力、コミュニケーション能力を高めるとても大切なものです。ぜひ、たくさん読んでほしいと思っています。秋の夜長にご家庭でも読書を楽しんでみられてはいかがでしょうか。

いろいろなことに集中しやすくなってきた今の季節に、スポーツ、学習、読書など豊かな実りを迎えることができるよう、子ども達の頑張りを認め、褒め、そして励ましていただけると大変ありがたいと思います。子ども達へのあたたかい言葉かけをよろしくお願いいたします。



## 10月の学校預り金のお知らせ

(単位：円)

	給食費	教材費	PTA会費	積立金等	合計
ひまわり	4700	学級通信にてお知らせいたします。			
1年	4700	1000	1800	0	7500
2年	4700	500	1800	0	7000
3年	4700	1000	1800	0	7500
4年	4700	1200	1800	0	7700
5年	4700	800	1800	2000	9300
6年	4700	3000	1800	0	9500

※10月の銀行振替日は11日（火）です。その日までに上記の金額の残高確認をお願いします。



## 10月行事予定

日	曜	行事予定	保健 関係	部活等
1	土			
2	日			
3	月	朝会・児童集会		
4	火	羽束師小漢字検定		部活なし
5	水			部活なし
6	木			
7	金			部活なし
8	土			
9	日			
10	月	スポーツの日		
11	火	6年体育授業参観前日準備 銀行振替日 安全の日		部活なし
12	水	体育授業参観		部活なし
13	木	体育授業参観予備日①		
14	金	体育授業参観予備日②		部活なし
15	土			
16	日			
17	月	委員会活動 6年茶道教室1組		
18	火	6年茶道教室2・3組 1～3年はみがき巡回指導 (オンライン)		バレー
19	水			タグ・バド・ブラ
20	木	ひまわり学級校内研究授業 (他学級13時下校)		
21	金	5年情報モラル 1・2年遠足		バスケ・卓
22	土	シルバーのつどい(プラス バンド11時頃出演予定in 体育館)		
23	日			
24	月	クラブ活動		
25	火			バレー(6年のみ)

26	水	新1年生入学届受付期間 (～11月7日)		タグ・バド・ブラ (6年のみ)
27	木		検尿	
28	金		検尿	バスケ・卓(6年のみ)
29	土			
30	日	6年陸上競技記録会、持久走記録会 (たけびしスタジアム京都【西京 極総合運動公園】)		
31	月	クラブ活動		

**今後の情勢により、学校行事等の予定が急遽変更することがあります。**

### 11月の主な行事

- 11月 1・2日(火・水)5年長期宿泊学習(花背山の家)  
4日(金)6年校内研究授業【6-1】(他学級14時頃下校)  
朝会・児童集会  
7日(月)クラブ活動  
8日(火)羽束師小漢字検定 視力6年  
9日(水)1・2年遠足予備日 視力5年  
10日(木)銀行振替日 視力4年・ひまわり学級  
11日(金)4年社会見学 視力3年  
14日(月)4年文化芸術体験 委員会活動 視力2年  
15日(火)4年文化芸術体験 視力1年  
17日(木)再検尿  
18日(金)人権参観・講演会  
23日(水)勤労感謝の日  
24日(木)令和5年度新入生就学時健康診断(13:10頃下校)  
25日(金)3年社会見学  
28日(月)小中合同研修授業  
29日(火)避難訓練(地震)



#### 授業予備日の設定について

感染症等による学級閉鎖に伴い、授業時数の回復として「授業予備日」を予め設定しております。今後、学級閉鎖等で授業時数の回復が必要となった場合、以下の日程で実施することがあることをご了承ください。

【冬季休業中】

12月26日(月)、1月5日(木)、1月6日(金)

## 令和4年度

### 全国学力・学習状況調査の結果より

全国学力・学習状況調査が4月19日（火）、6年生を対象に行われました。各教科（国語・算数・理科）と児童質問紙調査の結果をお知らせします。本校では、「なりたい自分に向かって 学び合い しなやかに生きる子の育成」を学校教育目標とし、保護者や地域の皆様の協力を得て、教職員が一丸となって取組を進めています。今回の学習状況調査の結果を踏まえ、今後も本校が目指す資質・能力である「課題設定力」「活用力」「表現力」が向上できるよう授業改善や家庭学習の習慣形成等に努めて参ります。

#### 【国語】

登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることはできているが、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題が見られました。

表現の効果を考えると、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしていくことで、「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目して読むことができるようにすることが大切です。

※家庭と学校で読書を大切にし、習慣づけられると良いですね。



#### 【算数】

割合を用いて問題を解決する場面において、数量（飲み物の量）が変わっても割合（飲み物の濃さ）は変わらないことを理解する設問では、全国平均を上回る正答率でした。

日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるようになることが大切です。普段の生活と結び付けて考えることで価値づけできるようにしていきたいと思います。



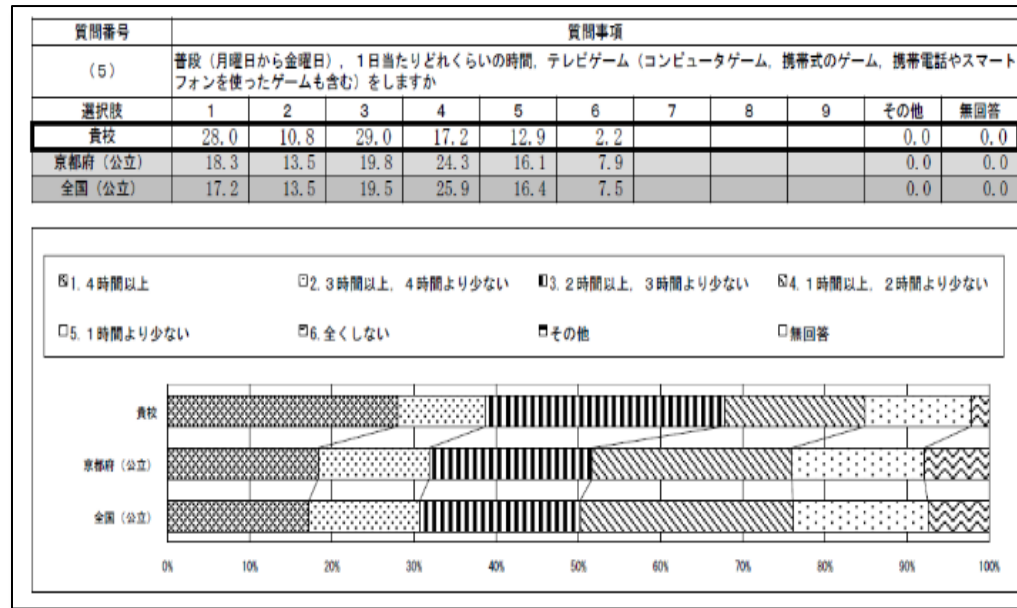
#### 【理科】

砂糖水を凍らせた物が水に沈んだという情報を、自分や他者の気付きを基に分析して、解釈し、適切な問題を見いだし記述することに課題が見られました。

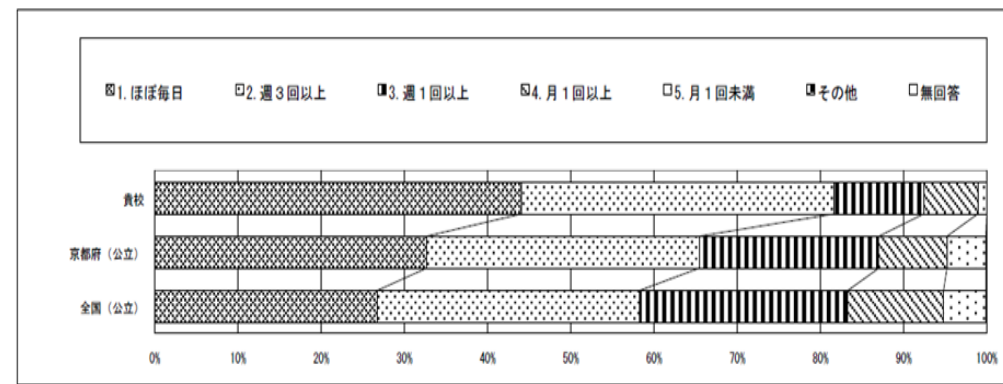
自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合う中で、自分や他者の気付きを基に差異点や共通点を捉え、問題を見いだす場面を設定することが重要です。どこに着目し、何を考えるのか視点を明確にしていきたいと思います。



## 【6年生児童質問紙調査より】



質問番号	質問事項										
(32)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	44.1	37.6	10.8	6.5	1.1					0.0	0.0
京都府（公立）	32.7	32.8	21.6	8.2	4.7					0.0	0.1
全国（公立）	26.7	31.5	25.0	11.5	5.1					0.0	0.1



## 【保護者の皆様へ】

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの力をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てではなく、また順位を競うものでもありません。学校・家庭・地域で、地道に積み重ねていくことで学力は定着していきます。子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をいただきありがとうございます。

「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか」という質問に「4時間以上」と答えた割合は、本校28.0%（府18.3%、全国17.2%）で、府・全国ともに大幅に上回っています。経年変化でも上昇傾向にあります。さらに全国的な傾向として、1日当たりのゲームの時間が長いほど、各教科の平均正答率が低い傾向が見られます。また、これは携帯電話やスマートフォン等を使用したSNSや動画視聴等を行う時間の長さでも同様の結果です。

携帯電話やスマートフォンは生活のなかで必要不可欠なものである反面、その使い方次第では児童の学力向上に大きく関わっていく現状が伺えます。各ご家庭で必要に応じて、1日の使用時間や使い方についての約束やルールを改めて確認し、声かけをよろしくお願いいたします。

「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問では、全国的に比べ高い数値でした。調べ学習、友達との意見共有、自分の考えをまとめるなど様々な教育活動でICTを活用してきた結果がこの数値に表れていると考えられます。昨年度より各学年で身につけたい情報活用能力を定め、それに伴うスキルの向上も図ってきました。今後さらに、教職員の情報活用能力向上のために、研修などを定期的実施し、学校全体でICT活用を推進できるようにしていきます。

また、家庭学習においても授業で活用しているGIGA端末を定期的に持ち回り、ロイノートやデジタルドリル「ミライシード」などを活用していきます。学校の授業と家庭学習を連動することで、児童の学力向上に努めていきます。これらの取組を充実させていくために家庭との連携を深め、児童の学びを一緒に進めていけるよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。